

日常のお手入れ

清潔に長くお使いいただくために、定期的にお手入れをしてください。

お手入れの時期

フィルターお手入れランプが付いたら

後ろパネル・センサー部・加湿フィルター(17ページ)をお手入れしてください。

ランプは約1カ月運転すると点灯(1日24時間運転した場合)

お手入れ後、差込プラグをコンセントに差し込み、運転を開始し、リセットボタンを3秒以上押してください。ランプが消灯します。ランプが点灯していなくても、リセットボタンを押してください。

フィルター
お手入れ  リセット
3秒押し

フィルター
お手入れ  リセット
3秒押し 
ピッ 




後ろパネルとセンサー部

1カ月に1回

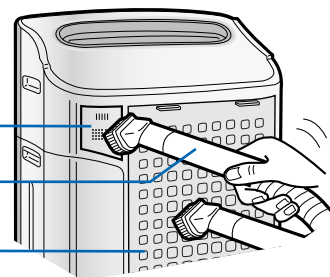
フィルターお手入れランプが点灯したり、ホコリが付着したら、お手入れしてください。

後ろパネルとセンサー部の穴に付着したホコリを吸い取る。

お手入れ後、差込プラグをコンセントに差し込み、運転を開始し、リセットボタンを3秒以上押す。

フィルター
お手入れ  リセット
3秒押し 
ピッ 

センサー部
掃除機
後ろパネル



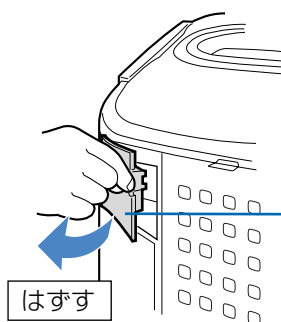
センサーフィルターのお手入れは?

汚れのひどいときは

- ① センサーカバーを取りはずす。
- ② センサーフィルターを取り出す。
- ③ 水洗いし、十分に乾かす。
- ④ センサーフィルターを取り付け、センサーカバーを本体へ取り付ける。

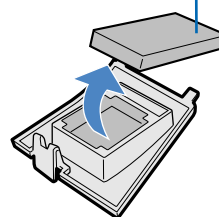
※別売部品として交換することもできます。

19ページ



センサーカバー

センサーフィルター
(表裏はありません)



本体

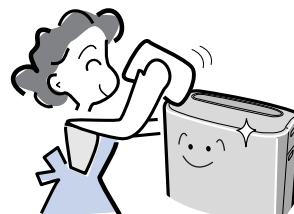
2カ月に1回

表面を柔らかい布で拭く。

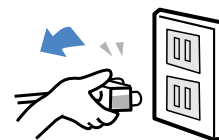
汚れがひどい場合は、水または、ぬるま湯(40℃以下)を含ませた布で拭く。

お願い

- 本体は水洗いしないでください。
- 揮発性のものや洗剤(ベンジン・シンナー・みがき粉・アルコール・石油など)は製品を傷めることがあります。



警告 お手入れのさいは、必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜いてください。
また、濡れた手で抜き差しをしないでください。感電やけがをすることがあります。

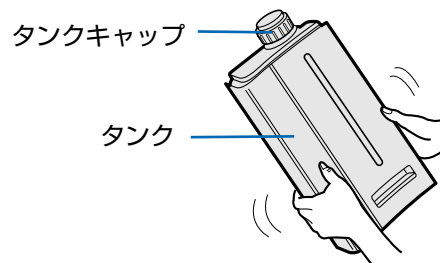


タンク

給水のたびに

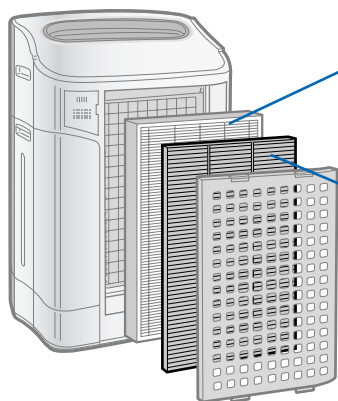
タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めた状態で振り洗いをする。

- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用合成洗剤を使用してください。
(洗剤が残らないようしっかりすすいでください)



洗える脱臭フィルター

- 吹出口からニオイがするとき
- ニオイが取れにくいとき



集じんフィルターは洗えません



洗える脱臭フィルター

※定期的に水洗いすることにより、くり返し使えます。
また別売部品として交換することもできます。

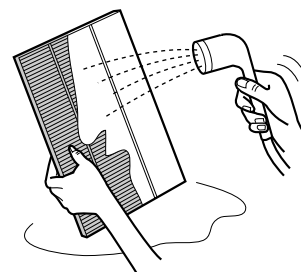
19 ページ

1

流水で「洗える脱臭フィルター」の汚れを洗い流す。

初めて洗うときに水が茶色になることがありますが、清浄効果および、健康面には影響ありません。

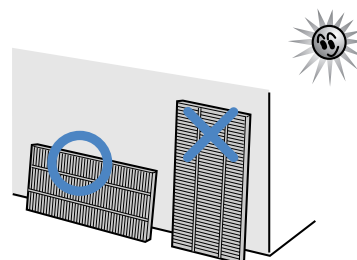
力を加えて洗わないでください。
洗える脱臭フィルターの形がくずれます。



2

水分をよくきり、屋外の風通しのよい場所で陰干しにする。

右図のように横置きに立てて干してください。
たて置きにすると洗える脱臭フィルターの形がくずれます。



3

「洗える脱臭フィルター」を本体に取り付ける。 8 ページ

洗浄後は、十分に乾かしてから取り付けてください。
乾燥が不十分な場合、ニオイが残ることがあります。

ニオイがとれにくい場合

ウーロン茶に10分程度つけ置き洗いしてください。
つけ置き洗い後、十分にすすいで乾かしてから本体に取り付けてください。

ウーロン茶に含まれるカテキンや香りのはたらきが効果を発揮します。

日常のお手入れ

清潔に長くお使いいただくために、定期的にお手入れをしてください。

トレイ

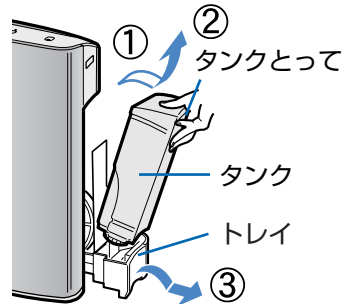
お手入れの際、フロート(発泡スチロール)など、トレイの部品を分解しないでください。

1カ月に1回

- トレイの水が汚れたり、内面が水あかでぬるぬるしてきたときは、お手入れしてください。
- お手入れの際、水がこぼれることがありますので、下にシートなどを敷いてお手入れしてください。

1

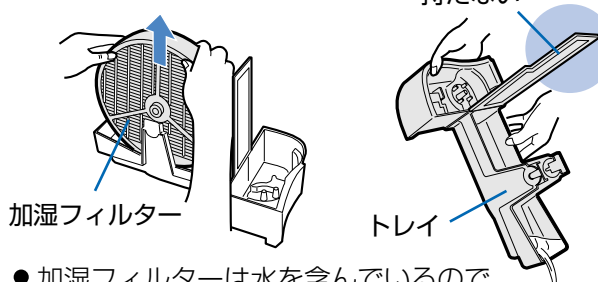
タンクをはずし、
トレイを
引き出す。



- トレイは、タンクを取り出してからはずします。
- トレイは、ゆっくりと取り出してください。急に取り出すと、トレイ内の水がこぼれる場合があります。

2

加湿フィルターを取りはずし、
トレイの水を捨てる。

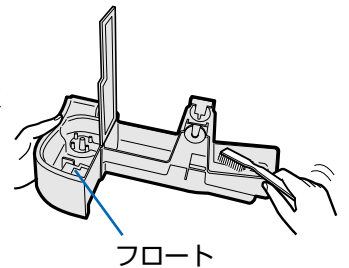


- 加湿フィルターは水を含んでいるので、水の滴下にご注意ください。

3

トレイ内を水洗いして汚れを落とす。

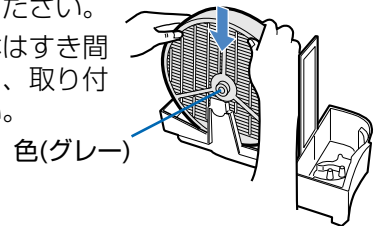
- 細部は綿棒や歯ブラシなどで汚れを落としてください。
- トレイ外側の水気は拭き取ってください。



4

加湿フィルターを取り付け、
トレイを本体に取り付ける。

- 加湿フィルターは前後の方向があります。フィルターわくの色が下図になる方向に取り付けてください。
- トレイと本体はすき間がないように、取り付けてください。



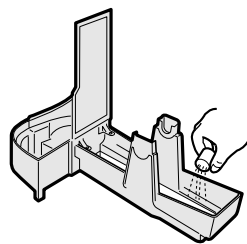
水あかが取れにくいときは

1 トレイに約 $\frac{1}{2}$ (約700ml)の水を入れ、
指定の洗剤を入れて溶かして、
そのまま約30分おく。

指定の洗剤
「花王：ワイドマジックリン®」(粉末)

【使用量】 約700 mlの水に約12g
(キャップ $\frac{1}{4}$)。

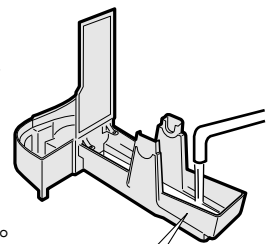
※「花王：ワイドマジックリン®」が入手できない場合は、
台所用合成洗剤(粉末)をお使いください。



2

水洗いする。

きれいな水で2~3回、
すすぎ洗いをする。
すすぎが不十分ですと
洗剤のニオイ・本体の
変形・変色・泡の発生
などの原因になります。



ご注意

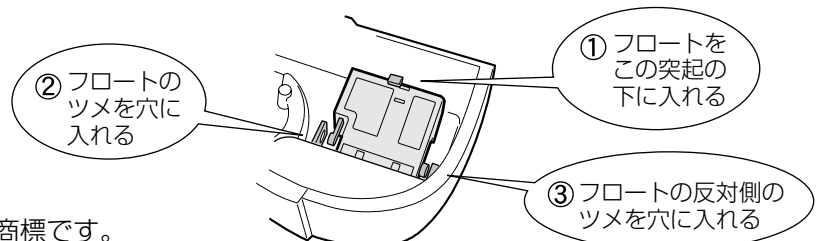
- 指定以外のアルカリ性・酸性の洗剤は使用しないでください。変形・変色・割れ(水もれ)の原因になります。

フロートははずさないでください。

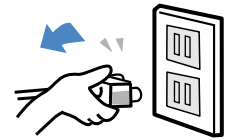
フロートがはずれた場合の取り付けかた

- フロートは分解しないでください。

※「ワイドマジックリン®」は、花王(株)の登録商標です。



警告 お手入れのさいは、必ず運転を停止し、差込プラグをコンセントから抜いてください。
また、濡れた手で抜き差しをしないでください。感電やけがをすることがあります。



加湿フィルター

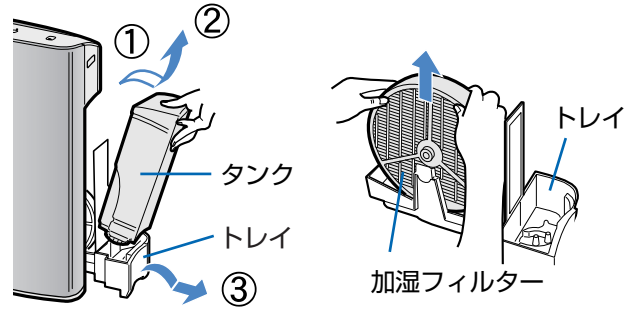
1カ月に1回 (交換の目安 約2年)

フィルターお手入れランプが点灯したり、吹き出す空気がにおったり、加湿量(水の減りかた)が少なくなってきたときは、お手入れしてください。

- 加湿フィルターの表面には、ご使用とともに赤茶色や白い固まりが付着しますが、水道水に含まれる不純物(カルシウムなど)です。異常ではありません。
白い固まりが加湿フィルター全面に付着したときは、加湿フィルターを交換してください。 [18ページ](#)

1 本体からタンクとトレイをはずし、加湿フィルターを取りはずす。

加湿フィルターは水を含んでいるので、水の滴下にご注意ください。



2 水またはぬるま湯(約40℃以下)に指定の洗剤を入れて溶かす。

吹き出す空気がにおったときは
指定の洗剤
「花王：ワイドマジックリン®」(粉末)
【使用量】 水またはぬるま湯(約40℃以下)
1Lあたり約9g(キャップ 1/4 弱)
※「花王：ワイドマジックリン®」が入手できない場合は、台所用合成洗剤(粉末)をお使いください。

水あか(白い固まり)が取れにくいときは
指定の洗剤
「クエン酸」(薬局・薬店でお求めになれます)
【使用量】 水またはぬるま湯(約40℃以下)
1Lあたり約6g(大さじ 2/3 杯)
※クエン酸は食品添加物で無害ですが、幼児の手の届かない所に保管してください。

3 加湿フィルターを入れてつけ置き洗いをする。

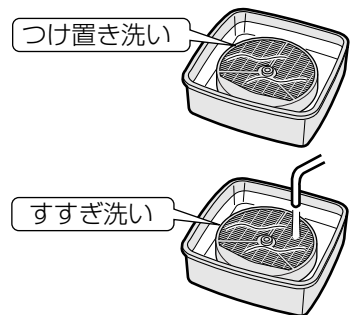
吹き出す空気がにおったときは
つけ置き時間 約30~60分

水あか(白い固まり)が取れにくいときは
つけ置き時間 約2時間

4 すすぎ洗いをする。

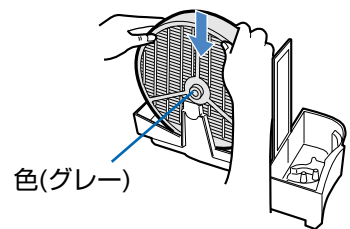
きれいな水を使用してください。水を入れ替えて2~3回くり返します。
※加湿フィルターは力を加えて洗わないでください。型くずれします。

ご注意 • すすぎが不十分ですと、洗剤やクエン酸のニオイ・本体の変形・変色の原因になります。



5 加湿フィルターをトレイに取り付け、トレイを本体に取り付ける。

- 続けてご使用にならないときは、加湿フィルターをよく乾燥させて取り付けてください。
- 加湿フィルターは前後の方向があります。フィルターわくの色が **色(グレー)** 右図になる方向に取り付けてください。



6 差込プラグをコンセントに差し込み、運転を開始し、リセットボタンを3秒以上押す。

